

# 雨の足音プロジェクト

## 雨の日の長崎をもっと楽しくするプロジェクト

雨の日だから見える景色がある。  
雨の日だから出かけた場所がある。

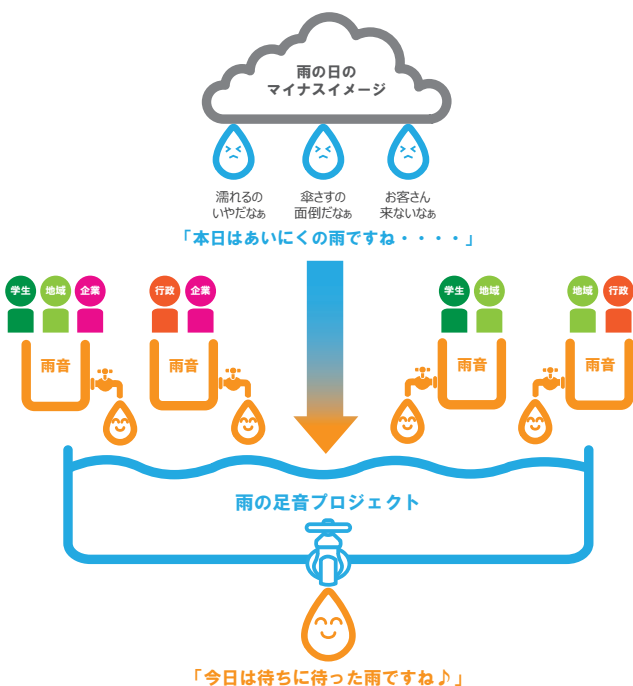
九州オリент測量設計株式会社 / 長崎県立大学国際情報学部情報メディア学科庄山研究室

### 雨の足音プロジェクトとは？

長崎と聞いてイメージされるキーワードに「雨」がある。それには「長崎は今日も雨だった」など、雨を題材にした歌や異国情緒あふれる情景などがそう連想させるのかもしれない。  
全国的にみても長崎は雨の多い地域ではないが、洋館や石畳があったりと雨が降ることにより雨で映えるスポットが多いことから、長崎は雨が似合う街でもある。そんな長崎からこのプロジェクトはスタートした。

雨が降っている時、多くの人は、外出を控えようとする。それは、「足元が濡れる」、「傘を差すのが面倒」、「道が混んで」といった雨に対するマイナスイメージがあるからである。

そこで、「雨」をテーマに、地域、学生、企業、行政等が連携し、雨にまつわる様々な取り組み（雨音）を実施し、それらの雨の足音プロジェクトを通して、もっと「雨の長崎」を楽しんでもらい、『今日はあいにくの雨ですね・・・』という雨の日の決まり文句を、「雨の足音プロジェクト」のフィルターを通して、『今日は待ちに待った雨ですね♪』と言わせた。それが、このプロジェクトに込められた私たちの思いである。



### 実施した主な“雨音”

雨の足音プロジェクトでは、様々な雨音（取り組み）を実施している。  
今回実施した主な「雨音」は、「みつける」・「つながる」・「ひろがる」の3つのキーワードで展開し、「雨の日のまちなかに新たな魅力と賑わいを創出する」をコンセプトにした。

#### みつける discover

**雨が似合うスポットの発信** 学生 地域 企業

地元の方から雨の日のおすすめスポットをメディアで募集し、雨の映える場所や雨にまつわる場所、雨の日でも快適に過ごせる施設・店舗を紹介することにより「雨の長崎」を楽しく散策できる情報を発信した。

- 雨が加わることで新たな魅力を発見
- 和・華・蘭の地で新たなスポットを紹介
- 地元の方も知らないというスポット

#### つながる connect

**雨の日のおもてなしを提供** 学生 地域 企業

地域の店舗や宿泊施設で雨の日に傘を貸し出したり、ちょっとしたプレゼントを提供する「雨の日おもてなし店舗」を紹介し、長崎を訪れた方だけではなく地元の方にも訪れてもらうことで新たな賑わいを創り出した。

- おもてなし店舗には目印にステッカー
- 観光客や地元の方への訴求効果を期待
- おもてなし店舗への新規顧客の獲得

#### ひろがる share

**雨のまちぶらマップの作成** 学生 地域 企業 行政

マップのデザインやフィールドワークを地元学生中心に行うことで、若い世代から年配の方まで地域おこしを身近に感じてもらうものとした。またマップ紙には撥水性の高いレインガード紙を採用することで、雨の日のおもてなしを演出した。

- 傘をさしながらでも利用しやすいサイズ
- 雨の日にも回遊しやすいエリアを細分化
- 雨日に濡れても大丈夫な紙

この事業の展望としては、天候やおもてなしに関係なく各地域、各商店、各個人などで新たな「雨音」を生み出し継続していくことが重要と考える。「雨」にはマイナスのイメージがつきものだが工夫次第でまちの活性化につながるプラスの資源へと生まれ変わり、将来的にここを訪れる人々を楽しませてくれる。「雨」という誰にでも舞い降りてくる日常に目を向け、冷たい雨の日も温かいおもてなしで心を晴れやかにしていきたい。

